



元寮生・訓練生は今・・・

元気かな～



2021年10月、合宿訓練(34期生)に参加したRS君(当時19歳)に話を聞きました。愛知県出身。高校在学中は学費を稼ぐためスーパーで17時～22時まで働いていたが、バカバカしくなり、働く気が失せつつも、卒業までは続けた。高校卒業後、陸上自衛隊に入ったが、一週間で辞めて帰ってきた。少し時間をおいた後、車の部品工場や介護の職に就いたが、どこも長続きせず転々としていたところ、生活保護の担当ケースワーカーに合宿訓練を紹介され「親元を離れて一人やって行こう。自分を変えるチャンス!」と思い参加した。が、最初はすごく不安だったし、退所するひと月前からは本当に東京で一人でやっていけるのか、と特に不安だった。

入所中は、作業が嫌で何とかして休もうとしていた。特に草むしりが大変だったが、作業内容ではなく、面倒臭い、が勝っていたと思う。夜は寮生・訓練生らとよくゲームをして過ごし、部屋でも動画を観たりゲームをして夜遅くまで起きており、朝起きられず、2日に1回は起こされていた。実家にいる時は家族でご飯を一緒に食べることはあまりなく、寮のご飯がすごく美味しく、みるみるうちに丸くなって(笑)6kg以上太った。

作業は草むしりが大変だった。実習先は①放課後等デイサービス、②グローバルスクール、③物流、④ビソー。きょうだいが下に3人いて子ども達の対応が得意だったので、①や②での実習は楽しかった。③は慣れるまで時間がかかったが、④は1対1で指示してもらえるのでやりやすかった。退所に向けて色々就活したが決まらず、多摩サポで繋がりがあった市内の物流に勤めた。が、仕事についていけず、2か月で辞めた。その後も物流やクリーニング業、警備等転々とし、仕事が決まっても面倒臭くて1～2回行って辞めたり、就活がうまくいかず働いていない時もあったり、という日々が続いた。今は2駅先にある新しくできたゲームセンターで1日7時間×週4日就労中。1人合わない人がおり、2日目で辞めようかと思ったが、好きなゲーセンにやっと決まったのに、これくらいで辞めてたら、もうどこも続かない・・・と思い、踏み留まった。お客さんに説明したりするので、クレーンゲームを練習したりして、腕も上がった。ただ、最近気づいたことがある。「ゲーセンはたまに行くから楽しい」と(笑)。ただ、働いたことで裏側も知り、学べたこともあった。仲良くなった大阪の友達に会いに行きたい目標もでき、好きなことを仕事にできたので、これを機に生活保護を抜けられるようにがんばりたいと思う。

入所してみるみるぷくぷくになったこと、毎日顔を合わせていても気づきました(笑)。朝起きるよりも金銭管理が苦手で、退所後の生活は本人以上に私たちも心配でしたが、今はやりくりできるようになったようで、成長したな～と感じました。

◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】17歳～48歳 【平均年齢】28.5歳

【状況】入寮1名、卒寮2名で、卒寮した2名は地元に戻らず、入寮中から続けていた職場で、正社員、週4日勤務を継続しながら、隣接する自治体で一人暮らしを始めました。

◇編集後記◇

先日、東京大学副学長の玄田有史氏にお会いした際、「2004年に出版した著書でニートという言葉を発表してから20年経った」と仰っていた。ニートという言葉は以前ほど聞かれなくなりましたが、ニートの数や彼らを取り巻く社会はどう変化し、支援者20年を迎える私は、どう貢献できているんだろう・・・と考えるきっかけになりました。

今月の1枚



食堂での昼食:三色丼
井ものは“小盛り”バージョンもあり、今回はそばろ・玉子・鮭の三色でした♡